



もてなしの源流「茶事」を通して日本の心に触れる
/一般社団法人 松阪市観光協会



古来より、客人を心を込めてもてなす「おもてなし」の精神を日本人は大事にしてきました。この精神性の源流は茶道にあると言われています。茶事とは、食事やお茶のお点前を含めたフルコースの正式な茶会となります。三重県・松阪は豪商の街として栄え、中でも竹川邸（射和文庫）は豪商・竹川家と高名な茶人・玄々斎との交流が持たれたゆかりの地。四季折々の日本庭園に、茶会のテーマを伝える掛け軸、お香の薫り、伝来由緒のある茶道具の数々……。五感を研ぎ澄ましながら、日本古来の究極のおもてなしをご体験ください。

おすすめポイント

- ・築300年以上の歴史的家屋で「茶の湯」の世界を体験
- ・茶道具や、美術品、庭園、茶懐石などを五感で楽しんでもらい、心を尽くしたおもてなしに触れることができる。
- ・三重県産の食材にこだわった懐石料理



◀For More Info

もてなしの源流「茶事」を通して日本の心に触れる
/一般社団法人 松阪市観光協会